

## コロナ「第6波」、推計3・4万人が入院…17都府県で5000床不足

2021年10月17日(日)配信読売新聞

政府が15日に示した[新型コロナウイルス](#)対策に沿って、[厚生労働省](#)が、今後の「第6波」で受け入れが必要な入院患者数を推計したところ、全国で最大約3万4000人となることが16日、同省への取材でわかった。この受け入れ態勢を実現するには約4万2000床の病床が必要となり、今夏の第5波で確保した病床数と比べると、17都府県で計約5000床が不足していることになる。

同省は都道府県に対し、10月中に確保病床数を見直し、不足分を上積みするよう要請している。都道府県支援のため、国立病院機構(140病院)と地域医療機能推進機構(57病院)に対し、国立病院機構法などに基づく初の病床確保要求も実施する。

## 重症患者に人手集中「ベッドあっても入院断る苦渋の決断」

### …[検証コロナ 第5波の教訓]

2021年10月8日(金)配信読売新聞

「せっかくベッドがあるのに、入院を断るのは苦渋の決断だった」

東京都大田区にある荏原病院の野津史彦・副院長(62)は、こう思いを明かした。同病院ではこの夏、[新型コロナウイルス](#)患者用の40床が使えず、「休眠」状態となってしまった。

東京都保健医療公社が運営する同病院は、コロナ専用病院として、都内でも最大規模の240床を持つ。主に軽症や中等症の患者を受け入れ、もともとの想定では重症病床は5床のみ。患者の症状が悪化して重症者が増えれば、重症病床を多く持つ大学病院に転院させる方針だった。

ところが、首都圏では第5波で、感染力が強く、重症化しやすいとされる変異ウイルス「デルタ株」が一気に流行し、重症者が急増。8月4日の段階で、全国の重症者(国基準)は1605人で、その半数の827人が都内の患者だった。

こうした中、大学病院などの重症病床が満床に近くなり、新規のコロナ重症者の受け入れが難しくなった。このため、同病院ではやむを得ず、自前で重症病床を10床に増やした。

ここで、何が起きたか。

同病院の看護師は約180人体制。軽症・中等症患者なら、「患者7人に看護師1人」で対応できるが、重症患者は[人工呼吸器](#)の管理や肺保護のためのうつぶせ寝の対応などで、一時的に「患者1人に看護師5人」が必要になる。重症病床を増やせばその分、軽症・中等症病床に回す人手が足りなくなり、結局、同病院は40床分の受け入れ中止を余儀なくされたのだった。

都によると、こうした休眠病床は、都立・公社の14病院のコロナ病床の2割にあたる400床超に上った。

## 「即応」に課題

さらに、コロナ患者以外の一般診療も担う民間病院では別の問題も起きていた。

各病院は「コロナ患者が急増した時、コロナ以外の患者を別の病院に転院させるなどして確保する病床」(確保病床)と、すぐに使える「即応病床」の数を、自治体に報告している。

東京都内の場合、8月上旬の「確保」は6406床で、「即応」は5967床。つまり、いざとなったら約400床はコロナ患者のために上積みができるという想定だったが、実際は入院中の一般患者を急に転院させるのは難しく、コロナ病床を増やせなかった。

東京で医療の逼迫が進んだ背景には、休眠病床の発生に加えて、こうした「計算上の病床数と現実の差」もあった。

## 「見える化」

コロナ対応ができる看護師の養成には時間がかかり、一般診療への影響なども考慮すると、都内では今後も大幅な病床の上積みは望めない。[厚生労働省](#)は、臨時医療施設の設置や、複数の[医療機関](#)が「輪番制」で医師や看護師を派遣できる仕組みを推奨している。

現実的な対応策として、ほかの地域では病床の「見える化」も進んでいる。

コロナ病床を約1500床抱える福岡県は、県内全域の約100病院の入院患者数や空き病床が一目で分かる県の独自システムを運用。病院ごとに1床を1マスで表示し、重症は赤、中等症は黄——と色分けし、パソコンなどで入力すると情報が即時に更新される。

同県では重症者が過去最多だった第4波(83人)と比べ、第5波は40人に半減。九州医療センター(福岡市)の森田茂樹院長は「自宅で急変した患者を素早く入院させることができた。早期治療が重症化予防に一役買ったはずだ」と話す。

宮城県でも県内23病院が毎日、同様のシステムを使って空き病床の一覧表を更新している。[東北大](#)病院の富永悌二院長は「『他の病院が受け入れているから、うちも』と納得感が得られやすかった」と言う。

厚労省は、病床の情報共有が各地できちんと機能したかを検証し、問題があれば11月までに見直すよう都道府県に求めている。「第6波では、休眠病床が出るような事態は避けたい」。同省担当者はそう話した。